



日本遠隔医療学会雑誌 第11巻 第2号
平成27年10月

Japanese Journal of Telemedicine and Telecare
Vol.11 (2), 2015

一般社団法人

日本遠隔医療学会

Japanese Telemedicine and Telecare Association

一般投稿論文

原著

- 遠隔情報共有機能を持つ在宅バーチャルリアリティ鏡療法システムの構築 (三宅 貫太郎) 64

JTTA 2015 SENDAI 第19回 日本遠隔医療学会学術大会

(2015年10月9日~10日 仙台市戦災復興記念館 大会長: 渡辺みか)

演題

- ・ 遠隔医療推進策の動向 (長谷川 高志) 72
- ・ 伝送画像による病理診断を実現するためのデジタルパソロジー技術基準の検討 (東福寺 幾夫) 76
- ・ How to Measure the Long-term Effect of e-Health
: Application of DID-PSM (Masatsugu Tsuji) 80
- ・ 学術ネットワーク (SINET) を使った胎児心エコーセミナーの報告 (川瀧 元良) 84
- ・ 多言語医療支援システムの研究開発 - 看護師が翻訳を必要とする臨床会話 - (長嶺 めぐみ) 88
- ・ 医療過疎地域における遠隔診療支援システム (k-support) 253例の解析 (小幡 史明) 91
- ・ 地域医療 ICT ネットワーク「あじさいネット」を利用した
長崎県全域の検査データ共有に関する取り組み (松本 武浩) 95
- ・ 遠隔画像診断と病診連携事例続報 - 検査数の傾向考察 - (嗣江 建栄) 98
- ・ 遠隔画像診断システムによるオンコール医師の負担軽減に関する検討 (郡 隆之) 102
- ・ 高齢者慢性疾患の経過観察中に発生する急性疾患に対するテレモニタリングの有効性
- バイタルサインと歩数のモニタリングによる発症の早期検出能 - (本間 聡起) 106
- ・ 米国におけるクラウドベース CPAP 診療の現状 (吉嶺 裕之) 110
- ・ 服薬支援装置の開発と評価 - 花巻服薬支援プロジェクト - (鈴木 亮二) 114
- ・ 国際的な遠隔医療カンファレンス運営のために必要な情報項目の
標準化に向けた取り組み (工藤 孔梨子) 118
- ・ e-MADO システムにより遠隔リハビリを実施した
小児患者の家族に対する満足度調査 (松清 あゆみ) 122
- ・ 構音障害のある患者への電子連絡ノート (His@home) の活用 (内海 桃絵) 125
- ・ 在宅医療総合支援システムの構築に向けた
リアルタイム多地点遠隔生体モニタリングシステムの開発 (吉川 健太郎) 129
- ・ 医療連携におけるベンダー・ニュートラルシステムの必要性と課題 (近藤 博史) 132
- ・ Health Checkup and Telemedicine System in Post-Disaster Situations (Min Hu) 135
- ・ 在宅難病患者と医師との高度テレコミュニケーションシステム II (滝沢 正臣) 139
- ・ 在宅人工呼吸器の遠隔監視、アラーム通報の試み (中村 昭則) 142
- ・ 救急搬送支援システムの試作 (岡崎 浩幸) 146

・ 鳥装着用 2.4GHz 送受信モジュールの通信性能の基礎的評価 (北野 利彦)	150
・ 生体情報を自動ファイル転送する鳥鳥間通信プロトコル - 時分割タブレット方式による同報通信 - (中島 功)	154
・ 鳥類の呼吸テレメトリーに有用な計測法の検討 (猪口 貞樹)	158
・ 新しい周産期遠隔医療と周産期 ICT の普及と展望 (小笠原 敏浩)	160

JTTA からの報告

一般社団法人 日本遠隔医療学会 平成 27 年度定時総会のご報告	166
日本遠隔医療学会雑誌投稿規程	171
NOTICE TO CONTRIBUTORS	175
日本遠隔医療学会雑誌に掲載された論文・記事の著作権の扱い	177